

遺服務中ノ處交代歸隊ス

命六 石九六日命第一五四號拔萃左ノ如シ

一 第一中隊 陸軍一等兵 余語一久

第二中隊 同 前田睦男

第五中隊 同 安垣千俊

右者暗號手トシテ當分ノ間通信班勤務ヲ命
ス

二 陸軍兵長 飼田昇

右者機松宏書類交付ノ為本十二日ヨリ一泊二
日ノ豫定ヲ以テ中頭郡北谷國民學校ニ出張
ヲ命ズ

三 明十三日部隊長離任式施行ニ方リ左ノ通り
心得ヲベシ

ノ各隊(配屬隊含ム)ハ最小限ノ舍内監視

ヲ残置スルモノトス

三 十時三十分迄ニ玉城國民學校々庭ニ集合
スルモノトス

四 集合隊形ハ南面ノ中隊縱隊、大隊橫隊トシ
大隊本部通信作業一、二、三、四、五、MG、IA、初年
兵教育隊、TASAノ順序トス

各隊ノ間隔ハ六歩トス

五 服裝ハ儀式ニ於ケル軍裝ニシテ背裏ヲ除キ略
綬佩用トス 雨天ノ際ハ外套着用トス

四 來ル十二月十四日十時ヨリ玉城國民學校々庭ニ於
テ故陸軍曹長末木長重以下二柱ノ慰靈祭ヲ執
行ス

依テ左記ノ通り心得ヲベシ

ノ部隊指揮官ハ大森中尉トス

訂正

會 報

勤 務 八 前日ニ同シ

一、各隊ハ各級代表者ヲ第一第四中隊ハ勤務ニ
支障ナキ全員參列スルモノトス
但シ配屬隊ヲ除ク

3. 隊形祭壇ニ面シ本部通信作業直轄小隊
第一第四中隊教育隊各級代表者ノ順序
ニ中隊、縱隊、大隊橫隊ト略綬佩用トス

石九六會第一三六號拔萃左ノ如シ

一、明十三日離任式終了後留名勝ニ於テ部隊
長送別ノ會食ヲ兼實施ス

依テ十二時迄ニ將校全員集合ノコト

二、部隊長山本大佐ハ明十三日十五時出發赴任
セラル、ニツキ同時迄ニ將校全員留名勝東端
ニ集合ノコト

現 員 九 人員 奈良少尉以下四十名

内 後 發 隊 九 名

分 遣 三 名

本部勤務 二名

炊 事 一名

出 張 一名

五頭

軍犬

十月十三日參列

曇時々雨 一〇三〇ヨリ玉城國民學校ニ於テ部隊長離任式施
行サル

於系 教 隊長以下十名參列、一二一。歸隊ス

有線作業 一三三。谷口軍曹以下八名出發延線作業實施
シ一七三。歸隊ス

本日ヲ以テ延線作業ヲ終了ス

十三日現在有線通信網要圖別紙第三、如シ
出張歸隊一七。飼田兵長ハ中頭郡北谷國民學校ニ出張
中、處歸隊ス

日 命四 石九六日命第一五五號拔萃左ノ如シ
三 陸軍少尉 奈良健

勤 務五 明十四日慰靈祭ノ進行係ヲ命ズ
糸救地區巡察下士官 谷口軍曹

内 務 衛 兵 永宮兵長以下五名
其ノ他前日ニ同シ

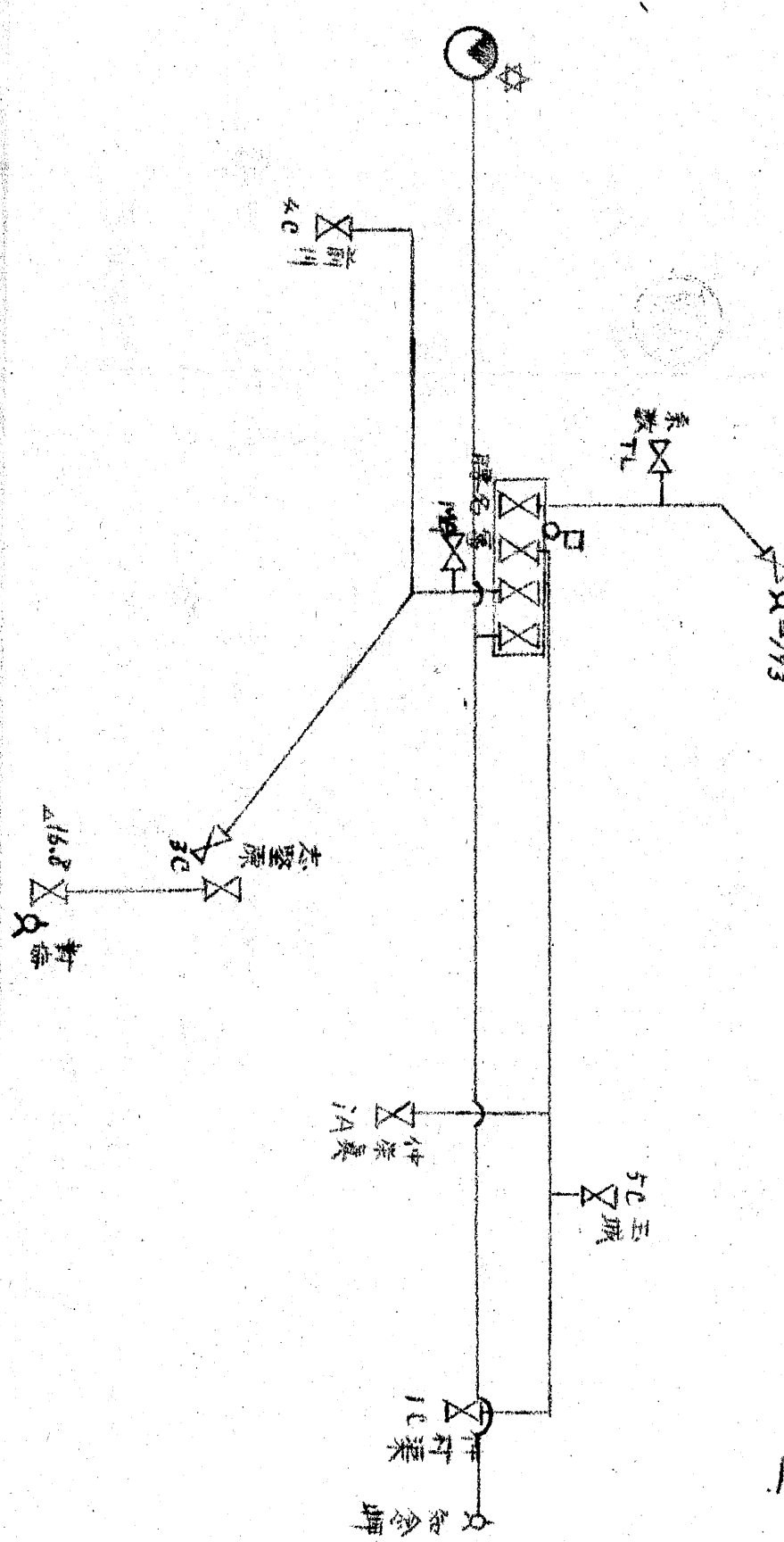
現 員六 人員 奈良少尉以下四十名
内 後 發 九名

分 遣 三名
本部勤務 二名

次 專 一名

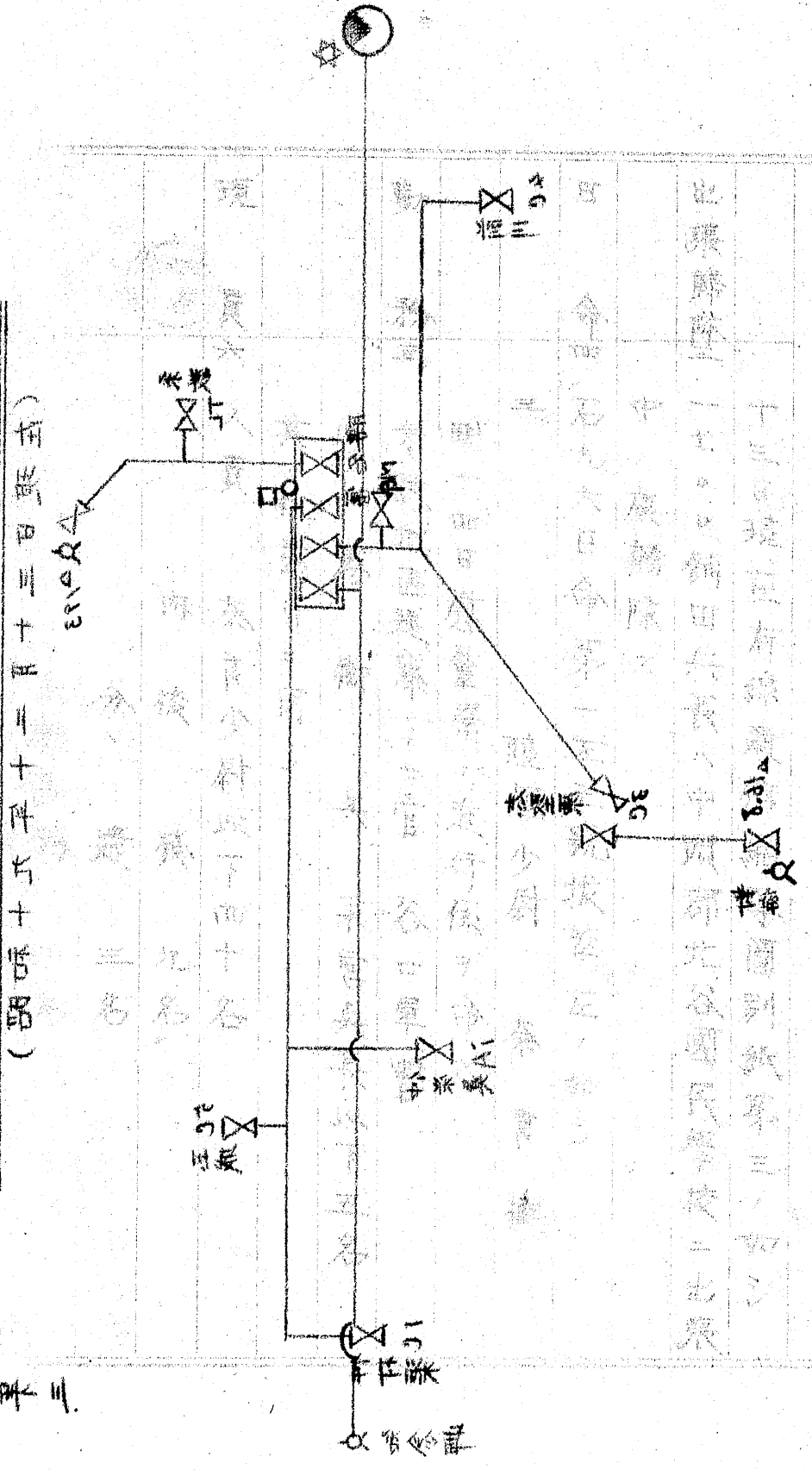
團要通信網線有線隊大五十隊兵隊通信網

(在現百三十月二十年九十知略)



十二月十四日	參列	軍犬	五頭
曇時々雨	一〇〇〇ヨリ玉城國民學校々庭ニ於テ故陸軍曹		
於系教	木 長末木長重以下二柱ノ慰靈祭執行サル		
	隊長以下各級代表者三名參列シ一一〇歸隊		
	ス 隊長ハ同式進行係ニ任ズ		
試験通信ニ	旅團ヨリノ題牒ニヨリ一一五ヨリ約十五分間		
	左記諸元ニヨリ試験通信ヲ實施ス		
	但シ當所ヨリノ送信ノミトシ應答ハ電話ニテ		
	實施ス		
	交信系符號 マハメ		
	15km 系教 (6)		
	57.6km 高平 (3) BTL		
	尚右諸元ニ依リ十六日ヨリ別ニ定ムル交信時間ニ		

圖 試驗通信實施計畫表 大村十郎少佐以下



大村十郎

會報

基キ交信實施ス

石九六會第一三七號拔萃左ノ如シ

一 故末木曹長 故日比野上等兵ハ英靈ハ明十

五日出發還送サル

依而見送ノ為左ノ通り心得フベシ

ハ江戸隊 松田隊ハ下士官以上全員爾餘ノ

本部各隊ハ各級代表者トス

2. 八時迄ニ區各隊南側本道上ニ集合スル

モトス

3. 服装ハ徒手帶劍卷脚絆トシ略綬佩用ト

ス

勤務

四 廻番下士官 谷口軍曹

廻番上等兵 秦上等兵

暗號班 柴田上等兵

現員五人員 奈良少尉以下四十名

内 後 殘 九名

分 遣 三名

本部勤務 二名

炊 事 一名

軍犬 五頭

十月十日見送り

一。七四。隊長以下各級代表者二名 故末木曹長

全 以下二柱、英靈還送、見送り、為出發。八三。

於系救 歸隊ス

出 張二。八四。飼田兵長以下二名 暗號書返納並ニ交領

、為仲間師團司令部ニ出張シ一五三。歸隊ス

出 迎三。九三。隊長以下十五名 部隊長飯塚少佐著

任、出迎、為出發一。五。歸隊ス

曇
 一。八一。隊長ハ前部隊長見送り、為出發一ニ
 上
 一。歸隊ス
 於糸
 教
 作
 業

二。八三。上田(定)兵長以下三名保線作業ニ出
 發一三。歸隊ス

三。八三。永宮兵長以下六名出發稻嶺驛一糸
 教間、荷物輸送實施一七ニ。歸隊ス

四。午後ヨリ代用碍子(竹製)ノ作製ヲ實施ス
 軍犬教育五。本日ヨリ軍犬補備教育ヲ毎日午前中實施ス

命令受領六一六。石十五作命令第五七號ヲ受領ス
 作
 命
 七。石十五作命令第五七號拔萃左ノ如シ

一。本部各隊ハ一部ヲ以テ陣地、補修ヲ續行
 スルト共ニ主カヲ以テ棲息居住設備並其、
 他、附屬施設、整備ヲ實施シ十二月末迄

二。完成スベシ

行
 動
 八。班ハ右命令ニ扨ラズ現在實施中ノ有線半永久
 施設工事ノ完成ヲ速進セシムルト共ニ棲息居
 住設備ヲ準備ス

勤
 務
 九。前日ニ同シ

現
 員
 一。人員 奈良少尉以下四十三名

二。後 發 九名

三。分 遣 三名

四。本部勤務 二名

五。炊 事 一名

六。末來隊 三名

七。軍犬 五頭

八。十二月十七日作業
 一。本日ヨリ有線半永久施設工事ヲ開始ス

日	主カヲ以テ右作業ヲ實施シ一部ヲ以テ格續
於糸教	驛ヨリ有線資料ヲ輸送ヲナス
來隊	二 第四中隊前田一等兵通信班勤務ノ為來隊ス
日命	三 石九六日命第一五八號拔萃左ノ如シ
	二 第三中隊 陸軍一等兵 坂口憲二
	一 第五中隊 同 赤石武美
會報	石香引續キ通信班勤務ヲ命ズ
	石九六會第一三九號拔萃左ノ如シ
	五 左記ニ依リ四種混合豫防接種實施ス
	左記
	十八日 一三三〇 直轄通信作業各小隊
	場所 富名殿 大隊本部 醫務室
勤務	人員 前日ニ同シ
現員	六 人員 奈良少尉以下四十三名
	内後發 九名
	分遣 三名
	本部勤務 二名
	炊事 一名
	末來隊 二名
	軍犬 五頭
十二月十八日作業	
晴後曇	一 永宮兵長以下十名ヲ以テ有線植柱作業ヲ實
月	施ス
於糸教	接種
	二 一三〇 醫務室ニ於テ全員四種混合豫防接種
	ヲ實施サル
來隊	三 第五中隊守垣一等兵通信班勤務ヲ命セラレ來
	隊ス

勤務	部隊衛兵	飼田兵長以下五名
現員	其ノ他前日ニ同シ	
員五	奈良少尉以下四十三名	
内	後發	九名
分	遣	三名
本部勤務		二名
炊事		一名
末來隊		一名
軍犬		五頭
十二月十九日作業		
曇一時雨	前日ニ引續キ有線植柱作業ヲ實施ス	
犬出張		
於系教二一六〇	飼田兵長ハ暗號係下士官集合教育	
	被教育者ヲ命ゼラレ師團ニ出張ス	

(附録・京東)

日命	三石九六日命第一六〇	號拔萃左ノ如シ
	四左ノ通り本部日直將校並ニ部隊巡察將校ニ	
	服務スベシ	
	服務月日	本部日直將校
	十二月二十三日	奈良少尉
	陸軍兵長	飼田昇
	石者明二十日師團ニ於テ實施セラル、暗號掛	
	下士官集合教育被教育者ヲ命ズ	
	依テ本十九日出發該部ニ列ルバシ	
勤務	前日ニ同シ	
現員	人員	奈良少尉以下四十三名
内	分	遣
後發		九名
本部勤務		二名

炊事	一名
末來隊	一名
出張	一名
軍犬	五頭
三月二十日作業	
曇	一主カヲ以テ代用碍子(竹)作製ヲ實施シ一部ヲ以テ格嶺驛ヨリノ荷物輸送ヲ實施ス
水	
於糸敷追及	一一三。飯田一等兵ハ後發隊トシテ服務中ノ處追及到着ス
命令受領	三石十五作命第六。號ヲ受領ス
作命	四石十五作命第六。號拔萃左ノ如シ
	三大隊本部作業小隊通信班ハ二十三日五城國民學校ニ移駐スバシ

(總務員・京東)

勤務五	週番下士官	永宮兵長
	週番上等兵	泰上等兵
	電信所	森山上等兵
	電報班	柴田上等兵
現員六人員	奈良少尉以下四十三名	
	内分遣	三名
	後發	八名
	本部勤務	二名
	炊事	一名
	末來隊	一名
	出張	一名
	軍犬	五頭
十二月二十日	居住設備準備	
晴	一〇八三〇永宮兵長以下五名ヲ居住設備準備ノ	



木	為玉城國民學校ニ分遣ス	於系 教 作 業	二 主カヲニ班ニ分テ大隊本部一對空監視哨間 及大隊本部一江戸隊間ノ半永久施設有線網 構成作業ヲ實施ス	出張 歸 隊	一四三。師團ニ出張中ノ飼田兵長歸隊ス	警 報	一八一五警戒警報發令サル	勤 務	週番下士官 岡南軍曹	其ノ他前日ニ同シ	現 員	六人員 奈良少尉以下四十三名	内 分 遣	三 名	後 發	八 名	本部勤務	二 名	炊 事	一 名	末來隊	一 名	軍 犬	五 頭
十月二十日 作業	一 前日ニ引續キ有線半永久施設作業ヲ速進ス	全 解 除	於系 教 二。九一五警戒警報解除サル	勤 務	三 前日ニ同シ	現 員	四人員 奈良少尉以下四十三名	内 分 遣	三 名	後 發	八 名	本部勤務	二 名	炊 事	一 名	末來隊	一 名	軍 犬	五 頭					

十二月二十二日 移駐準備

曇(小雨) 午前中岡南軍曹以下七名ハ末教宿舍ヨリ玉

於屋嘉部 城國民學校へ荷物輸送及移駐諸準備ヲ實

施ス

作業 主力ハ前日ニ引續キ有線半永久施設作業ヲ

實施ス

一五。本部ノ位置ニ交換所(切分)ヲ設置ス

對空監視哨一本部ハ終了ス

移駐 一四。系教宿舍出發一四三。屋嘉部玉城

國民學校ニ移駐ヲ完了ス

丙疏戰備 二二三。丙疏戰備發令サル

會報 石九六會第一四四號拔萃左ノ如シ

一左記ニ依リ月例身體検査並ニ三種混合及赤

痢豫防接種ヲ實施ス

月	日	時間	受檢部隊	場所
十二月二十四日	〇八三	通作業小隊	大隊本部醫務室	

備考

一豫防接種ハ本部直轄通信作業各小隊ヲ除

ク各隊實施スルモノニシテ初年兵教育隊ハ

亦痢豫防接種ノミ實施ス

勤務 本部日直將校 奈良少尉

任務衛兵 小野田上等兵以下五名

交換所 大田上等兵以下二名

其ノ他前日ニ同シ

現員 人員 奈良少尉以下四十三名

内分 遣 三名

後發 八名

本部勤務 二名

炊事 一名
 末來隊 一名
 軍犬 五頭

十二月二十四日作業

晴後曇 一 作業隊ヲ二班ニ区分シ仲榮間一屋嘉部間及

日 未教一區名勝間、有線羊永久線路構成作業

於屋嘉部 ヲ實施ス

解除 一四五。丙疏戰備解除サル

夜間作業三 カナヤ原ニ位置スル一中隊ノ一小隊ニ玉城ヨリ延

線、爲一八三。谷口軍曹以下九名出發二三三

。歸隊ス

會報四 石丸六會第一四五疏拔萃左ノ如シ

十二月月例身體検査時間割ヲ左記ノ通り

一部變更ス

左記

十二月二十五日 一。三〇 通信作業小隊

勤務五 部隊巡察下士官 谷口軍曹

週番下士官 宮城健伍長

週番上等兵 森山上等兵

其ノ他前日ニ同シ

現員六人員 奈良少尉以下四十三名

内分遣 三名

後發 八名

本部勤務 二名

炊事 一名

末來隊 一名

軍犬 五頭

十二月二十五日月例身體検査



曇時々晴 一。三。醫務室ニ於テ全員月例身體検査ヲ受
 月 檢ス
 於屋嘉部到着

一。二。三。後發隊タリシ福野上等兵到着ス
 作 業 三 午後ヨリ仲榮真一屋嘉部間ノ半永久線路
 構成實施ス

日 命 四 石九六日命第一六五號拔萃左ノ如シ
 六 通信班長 陸軍少尉 奈良健
 大隊本部副官ノ業務ヲ援助スベシ(二十四日
 日々命令)

勤 務 五 前日ニ同シ
 現 員 六 人員 奈良少尉以下四十三名

内 分 遣 三名
 後 發 七名

(附符典・京東)

本部勤務 二名
 炊 事 一名
 末來隊 一名
 軍犬 五頭

十二月二十六日作業
 曇 一 前日ニ引續キ江ノ隊ノ本部間ノ延線作業實
 火 施ス

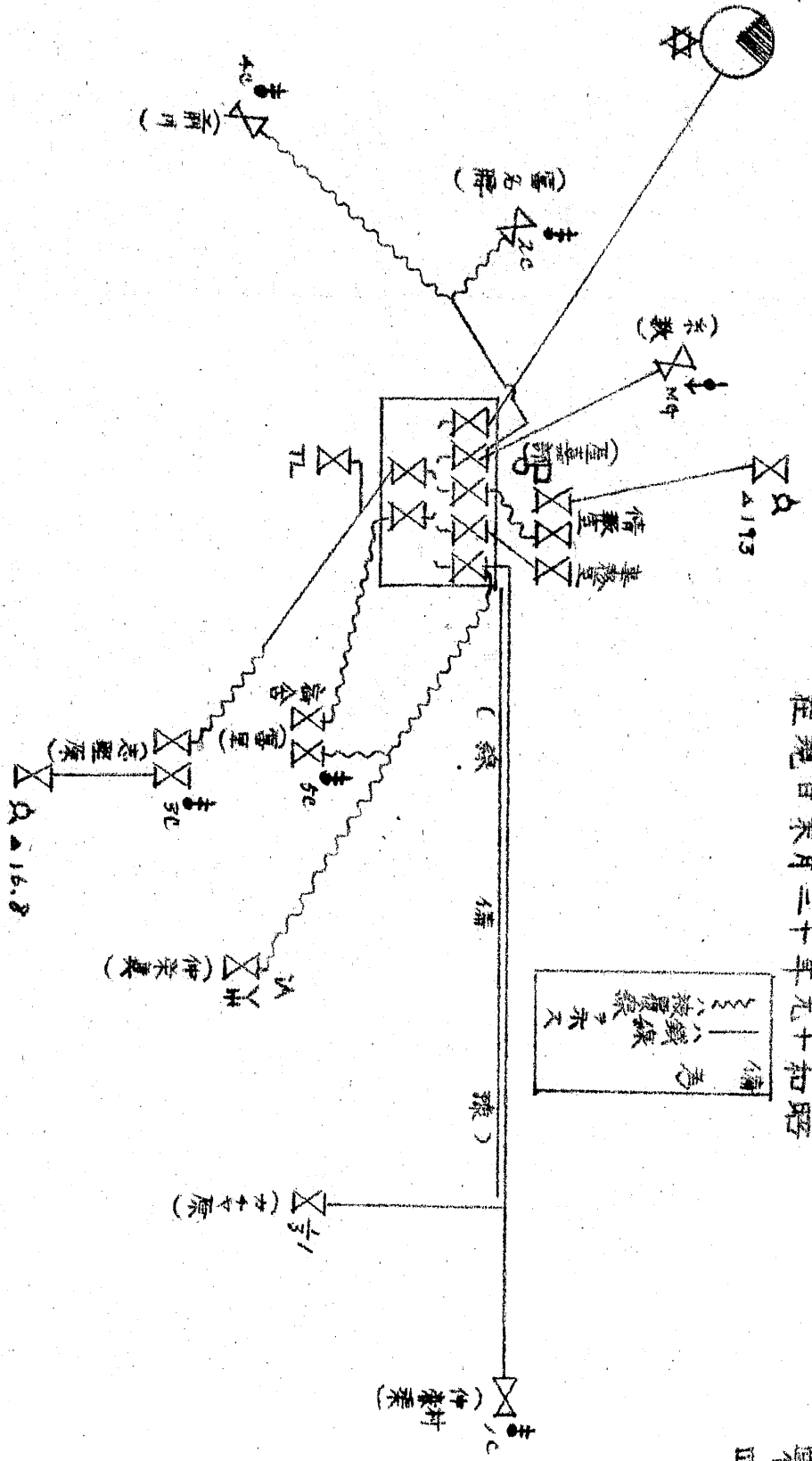
於屋嘉部來隊
 一。五。三。第一中隊余語一等兵通信班勤務ノ為
 來隊ス

勤 務 三 前日ニ同シ
 現 員 四 人員 奈良少尉以下四十三名

内 分 遣 三名
 後 發 七名

本部勤務			二名	
炊事			一名	
軍犬			五頭	
十二月十六日作業				
一 カネヤ原―王城間半永久線路構成實施ス				
水休養				
於屋嘉部ニ午後ヨリ休養ス				
日命三 石九六日命第一六七號拔萃左ノ如シ				
三左ノ通り本部日直並巡察將校ニ服務スベシ				
月	日	日直將校	巡察將校	
一月三日	奈良少尉			
勤務四 部隊衛兵 塚本上等兵以下五名				
其ノ他前日ニ同シ				
現員五 人員 奈良少尉以下四十三名				

内分遣			三名	
後發			七名	
本部勤務			二名	
炊事			一名	
軍犬			五頭	
十二月二十八日作業				
一 江戸隊―本部間ノ線路補修強化作業實施ス				
木教育				
於屋嘉部ニ本日ヨリ暗読書更新ニ伴フ暗読予補備教育ヲ開始ス 毎日。八。〇。ヨリ一七。〇。迄(約八時間)實施ス				
勤務三 前日ニ同シ				
現員四 人員 奈良少尉以下四十三名				
内分遣 三名				



陸軍省電報線有線電報線
昭和二十年九月三十日現在

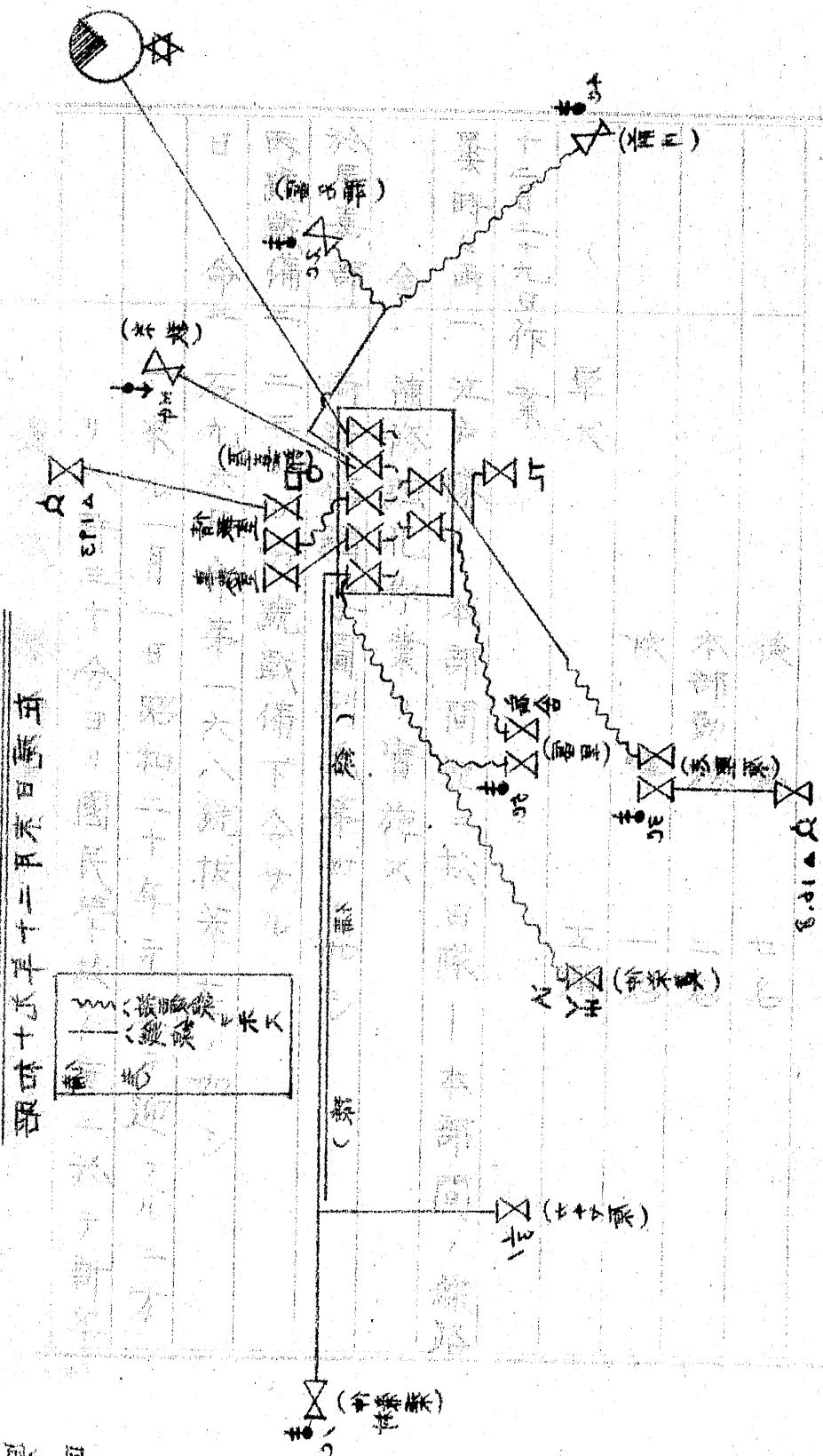
電報局

	後發	七名
	本部勤務	二名
	炊事	一名
	軍犬	五頭
十二月二十九日作業	曇時々雨	
全	江戸隊—本部間並ニ松田隊—本部間、線路補修強化作業ヲ實施ス	
於屋嘉部	尚通信網要圖別紙第四、如シ	
丙號戰備	二三〇〇丙號戰備下令サル	
日	命三石九六日命第一六八號拔萃在、如シ	
	一來心一月一日昭和二十年元旦ヲ迎フルニ方	
	リ八時三十分ヨリ國民學校々庭ニ於テ新年	
	遊洋式ヲ舉行ス	
	依テ左ノ通り心得ツベシ	

(總務部・京東)

												一、各隊（配屬隊含む）ハ八時二十分迄ニ集合ヲ完了スベシ
												二、集合部隊ハ南面ニ中隊ハ縱隊トシ右ヨリ本部通信作業バツ、MG IA 初年兵教育隊橋本隊外山隊、順序トス
												三、中隊ハニヶ小隊編成トシ銃砲中隊ハ小銃編成トス
												四、服裝ハ儀式、場合、軍裝トシ略裝佩用スベシ
												五、式順左ノ如シ
												一、集合
												二、部隊長訓示
												三、宮城遙拜
												四、海行カバ唱和
												五、国歌合唱
												六、聖壽萬歳三唱

圖 陣 監 台 武 驗 在 不 隊
軍 隊 日 來 日 一 十 年 五 十 四 第
圖 一 六 八 院 技 術 部
一 九 三 九 年 十 月 一 日



ト解散

二月一日十時ヨリ無勲下士官（見習士官舎ム）ノ參賀式ヲ執行スルニツキ該當者ハ執行五分前ニ本部事務室前ニ集合スベシ
 服装ハ徒手帶劍卷脚絆トシ略綬佩用トス
 三月四日勅諭奉下賜六十三周年ニ方リ勅諭奉讀式ヲ十時ヨリ國民學校々庭ニ於テ施行ス
 依テ左ノ通り心得フベシ
 一 本部通信作業初年兵教育隊ノ順序ニ
 九時五十分迄ニ整列ヲ完了スルモノトス
 二 服装ハ儀式ノ場合ノ軍装トシ略綬佩用スベシ

勤務四 前日ニ同シ

陸軍

(續谷島・京東)

現員五人 奈良少尉以下四十三名

内分遣 三名

後發 七名

本部勤務 二名

炊事 一名

五頭

軍犬

十二月三十日作業

曇 一 築城用資材運搬ヲ實施午後ヨリ一部ヲ以テ犬

土 舍防寒設備ヲ實施ス

於屋嘉部ニ一五五。竹内上等兵以下二名榴巖荷物集積連絡

歸隊 所ニ分遣中ノ處歸隊ス

勤務三 週番下士官 岡南軍曹

週番上等兵 齊藤上等兵

電信所 塚本上等兵

<p>現員 四人 員 奈良少尉以下四十三名</p> <p>内 後 發 七名</p> <p>分 遣 二名</p> <p>本部勤務 一名</p> <p>炊 事 一名</p> <p>軍犬 五頭</p>										<p>交換所 辻下上等兵以下二名</p> <p>晴後曇 一〇九一〇空襲警報發令サル</p> <p>本日ノ部隊衛兵ハ通信班勤務担任ナルヲ以テ奈良屋嘉部 上等兵以下三名ヲ増加ス</p> <p>二〇九四五空襲警報解除サル</p> <p>三〇一〇〇警戒警報解除サル</p> <p>隊四師團ニ於ケル無線通信子特業集合教育ニ參</p>									
<p>勤務五 部隊衛兵 永宮兵長以下五名</p> <p>其ノ他前日ニ同シ</p>										<p>現員六人 員 奈良少尉以下四十三名</p> <p>内 後 發 七名</p> <p>分 遣 一名</p> <p>本部勤務 二名</p> <p>炊 事 一名</p> <p>軍犬 五頭</p>									